

かわ

2018.4.2

Vol.237 Contents

わかまちのかわ◎第37回 福岡市 P1～P2

特集 2つのダム完成…………… P3～P4

不法係留船対策…………… P5～P6

「ふくおか水もり自慢!」報告…………… P7

災害復旧実務講習会(第2回)報告…………… P8

ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!! P9～P10
No.42 脅威! 特定外来生物に指定される水草たち

川のある風景/協会からのお知らせ



郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちの かわ

第37回

福岡市



福岡県

福岡市



那珂川

■ 福岡市の概要と河川

「アジアのリーダー都市」を目指して次のステージへ



福岡市は、福岡県の西部に位置し、背後地を背振山をはじめ、山々に囲まれた福岡平野を中心に形成されており、その山々より源を発する二級河川那珂川などの中小河川が市街地を流れ、自然と都市が共存した街となっています。

また、福岡市は、政令指定都市のなかで最も人口増加率が高い都市で、人口は157万人を超え日本で5番目に人口の多い都市になりました。市民からも住みやすさで高い評価を得ており、都市のランク付けを行っている海外の雑誌では、2016年に世界で7番目に住みやすい都市として紹介していただいています。福岡市の知名度が上がるにつれ、国際会議の回数も年々増加し、8年連続で東京に次ぐ全国で2番目の開催実績となっています。



博多祇園山笠行事がユネスコ無形文化遺産として登録されました。

博多川



船祭り込み

江戸時代、黒田長政の入国後、築城やまちづくりのため、那珂川に中洲が整地されたことから、博多川の歴史が始まったと考えられています。

現在は、博多座に出演する歌舞伎俳優の顔見せを行う「船祭り込み」をはじめ、いろいろなイベントで水辺の魅力を創出しています。

博多灯明
ウォッチング

福岡市の「魅力」

1! 2! 3! (ワッ・ツー・スリー)

Good Point!

その① 世界有数の都市機能

海外からの直行便が多く、国内においても27空港から福岡空港への直行便が利用可能です。さらに、その福岡空港から地下鉄で博多まで5分、天神まで11分で到着することができ、半径2.5km以内に空港・会議施設・市街地が位置しているほか、多くの観光スポットなどがコンパクトにまとまっています。

また、クルーズ船の寄港回数は、横浜や沖縄など国内の名だたる港を抑えて、3年連続で日本一となっています。



11分



福岡空港



5分



天神

福岡空港から
天神・博多共に
地下鉄が
直結しています。



博多

その② 世界に誇る文化

福岡は歴史的な文化が根付く街です。

毎年7月に行われ770年以上の伝統を誇る「博多祇園山笠」や5月のゴールデンウィーク期間中に全国一の賑わいをみせる「博多どんたく港まつり」など、全国を代表するお祭りも行われています。

◇博多祇園山笠

国指定重要無形民俗文化財に指定されており、1241年に承天寺の開祖・聖一国師が、疫病封じのために祈禱水(甘露水)をまいたのが始まりとされています。毎年7月1日になると、10mを超える飾り山笠が市内14ヶ所で常設展示され、7月15日の午前4時59分には、真夜中に集まった観客に見守られ、大太鼓の合図と共に昇り山を担いで博多の街を全力疾走します。



◇博多どんたく港まつり

約830年前の慶長行事「博多松囃子」を博多町人が発展させたのが「博多どんたく」。現在は毎年5月3・4日の2日間かけて市民総参加の祭りとして賑やかに行われます。

祭りのメインは明治通りを華やかにパレードする「どんたく隊」。市内約30カ所には舞台が設置され、楽しいイベントが開催されます。どんたく期間の福岡は、キラキラ輝く花自動車が行き交いお祭りムード満開。福岡全体がどんたく一色に染まります。



◇博多ライトアップウォーク

実は、福岡市は、お寺が武士たちの防衛拠点として活用できることから、京都に次いで寺院が多く、秋にはお寺をライトアップする「博多ライトアップウォーク」が行われています。



[承天寺]

山笠発祥の地といわれており、他にもどん・そば・羊羹・饅頭などの製法が初めて伝えられた場所とも言われています。



[東長寺]

弘法大師創建の寺としては日本最古のお寺です。ここには、木造(樟)坐像では、日本一の大きさの大仏である福岡大仏をはじめ、国宝の千手観音菩薩などがまつられています。

その③ 世界もうなるソウルフード

福岡には、何度でも行きたくなるような「おいしい食文化」がいっぱいです。福岡のソウルフードのラーメン、もつ鍋、焼き鳥、水炊き、そして、新鮮な玄界灘の幸(お魚)、何気なく入ったお店で絶品料理に出会えるのも福岡の魅力です。

中でも、屋台は福岡の大きな魅力の一つです。屋台は、昭和21年頃、戦後の混乱期に道路上などで簡易な仮設店舗を設置して営業を行ったのが始まりです。昭和40年代の最盛期には400軒以上あった屋台も、平成22年には約150軒にまで減少しました。高島市長の「屋台を残したい」という思いから、平成25年、日本で初めて屋台基本条例を制定し、平成29年4月からは、初めて実施した公募によって選ばれた20軒を超える屋台が新たに営業を開始し、現在約110軒が営業を行っています。



那珂川沿いの屋台



特集

2つのダム完成

(福岡県県土整備部河川開発課)

GOKAYAMA

五ヶ山ダムで竣工式を開催



【五ヶ山ダム】上流側よりダム湖面を望む



【五ヶ山ダム】堤体右岸側よりダム湖面を望む



【五ヶ山ダム】渡り初め



【五ヶ山ダム】テープカットの様子

五ヶ山ダムは、福岡県の北西部に位置し、その源を脊振山に発し、那珂川町と福岡市を流下して博多湾に注ぐ二級河川那珂川に建設した貯水容量 4,020 万 m^3 の県内最大のダムです。主な諸元は堤高 102.5 m、堤頂長 556.0m、堤体積 935,000 m^3 の重力式コンクリートダムで、洪水調節、既得用水の安定化・河川環境の保全、新規水道用水として福岡地区水道企業団(6市7町1企業団、1事務組合)へ1日あたり 10,000 m^3 の水の供給、異常渇水時の緊急水の補給を目的とした多目的ダムです。

福岡都市圏では、昭和 53 年に制限給水期間 287 日間、平成 6 年に制限給水 295 日間という未曾有の渇水を経験し、社会生活、経済生活に究めて大きな打撃を与えました。昭和 53 年の渇水を機に、昭和 54 年度～ 57 年度に予備調査、昭和 58 年度～ 62 年度に実施計画調査を経て、昭和 63 年度に建設事業に採択されました。その後、地元住民の方々との交渉を重ね、事業への理解を得ることができ、平成

24 年度にダム堤体工事に着手することができました。また、平成 28 年 2 月には堤体のコンクリート打設が完了し、平成 28 年 10 月より、ダム及び貯水池の安全性を確認するための試験湛水をしています。

平成 30 年 3 月 11 日には、雲一つ無い晴天に恵まれ、竣工式典が開催されました。式典には 164 名の関係者に出席していただき、記念碑の除幕、テープカット、くす玉開きが那珂川町吹奏楽団のファンファーレが鳴り響く中、盛大におこなわれ、最後は出席者の皆さんによるダム天端の渡り初めにて、記念行事を無事終えました。堤体の高さに驚く皆さんの声がとても印象的でした。

最後になりますが、地元関係者のご理解・ご協力をはじめ、ダム事業に携わってきた方々の努力が実り、この度、無事に竣工式を迎えることができました。この場を借りて、皆様にお礼を申しあげ、結びとさせていただきます。

伊良原ダムで竣工式を開催

五ヶ山ダム & 伊良原ダム



【伊良原ダム】下流側よりダム湖面を望む



【伊良原ダム】上流側よりダム湖面を望む



【伊良原ダム】竣工記念碑



【伊良原ダム】テープカットの様子

伊良原ダムが建設されている祓川は、福岡県の南東部みやこ町と行橋市を流れ、周防灘にそそぐ流域面積 66.4 km²、流路延長 31.5km の二級河川です。急流のため河岸の決壊・氾濫など古くからたびたび洪水を起こしてきました。さらに、沿川の市街化により、洪水被害は増加傾向にあり抜本的な治水対策が求められてきました。一方で、夏季においてはしばしば深刻な水不足に見舞われる地域でもありました。

伊良原ダムは、洪水調節、既得用水の安定化および河川環境の保全、新規水道用水として田川地区（田川市、福智町、川崎町、糸田町）及び京築地区（行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町）に対し、新たに 1 日あたり 37,000 m³の水を供給することを目的とした多目的ダムで、堤高 81.3m、堤頂長 339m、堤体積は 420,000 m³の重力式コンクリートダムで、総貯水容量は 2,870 万 m³となります。平成 2 年度より建設事業に着手し、平成

27 年 7 月より本体コンクリートの打設を開始し、平成 29 年 5 月に打設を完了、平成 29 年 10 月からダム及び貯水池の安全性を確認するための試験湛水をしています。

平成 30 年 3 月 4 日に開催された竣工式当日は、抜けるような青空のもと、季節外れのうららかな陽気に包まれました。式典には約 180 名の関係者のご出席をいただきました。主催者である小川洋福岡県知事が式辞を述べ、来賓の方々から祝辞をいただいた後、万歳三唱を行いました。その後、竣工記念行事として、記念碑の除幕、テープカット、くす玉の開披を行いました。最後に、参加者全員でダム天端道路を渡り初めし、完成したダムからの眺望を楽しんでいただきました。

伊良原ダムが無事に竣工式を迎えることができましたこと、地権者の皆様をはじめとする地域の皆様、ご支援ご協力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

県管理河川の不法係留船対策

～二級河川名柄川における代執行の状況～

福岡市を流れる二級河川名柄川には平成29年8月現在174隻の不法係留船及び不法占用の梯子等がありました。この不法占有により、河川管理上では、洪水時の流下能力の低下、梯子等による護岸の損傷や廃船からの油漏れなどの水質事故等の懸念されており、地元では、不法係留船で子どもが遊び危険との声、エンジン騒音、違法駐車及びゴミ問題も発生していました。

このため県では平成26年11月に『名柄川における不法係留船舶対策に係る計画』を策定し、不法係留船舶の『重点的撤去区域』を定め公示しました。

重点的に行政指導等を所有者に行った結果、平成29年8月までに174隻まで不法係留船舶が減少しました。しかしながら、これ以上の自主撤去が期待できないことから、平成29年11月から平成32年3月にかけて、行政が所有者に代わり不法係留船を強制撤去する行政代執行及び所有者が判明しない不法係留船に対する簡易代執行を実施し、不法係留船舶の一掃を図ります。

○行政代執行とは

行政代執行法第2条に基づく強制執行で、法律により命じられた行為について義務者がこれを履行しない場合、行政が義務者に代わって命令を実行し、要した費用を義務者から徴収する制度です。

○簡易代執行とは

河川管理者が河川法第75条第3項の規定に基づき公告の上、所有者不明船等を強制撤去できる制度です。

○河川法75条第3項（一部抜粋）

過失がなくて当該措置を命ずる者を知ることができないときは、河川管理者は、当該措置を自ら行い、又はその命じた者若しくは委任した者にこれを行わせることができる。

簡易代執行開始宣言の様子



名柄川 不法係留船数 の推移

平成26年1月	284隻
↓	
平成29年8月	174隻
↓	
平成29年11月	144隻
↓	
平成29年12月	135隻
↓	
平成30年2月	128隻

代執行の様子



FOR
CLEAN

AND
SAFE



代執行開始以前の名柄橋上流(H24)の様子



代執行開始後の名柄橋上流(現在)の様子



[URLはこちらから]

不法係留船舶に関するお問い合わせはこちら

福岡県 県土整備部 河川管理課 管理係

TEL: **092-643-3667**

FAX: **092-643-3669**

不法係留船舶対策に関する情報はこちら

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kannihatudaisikkou.html>

ふくおか **水** **も** **り** 自慢!

第14回 ふくおか水もり自慢! in 矢部川

平成29年12月17日に八女市民会館（おりなす八女）において、「第14回ふくおか水もり自慢! in 矢部川」が開催されました。今回で14回目を迎えた「ふくおか水もり自慢!」は、福岡県内の「水」・「もり（森）」（山林、川、ため池、水田、水路、海、干潟など）に関わる活動をしている団体（学校、市民団体、NPO、企業、国、地方自治体）が一堂に会し、異分野交流や行政と市民とのパートナーシップを促進するとともに、他の団体の活動内容を学び、今後の活動の糧とするためのイベントです。

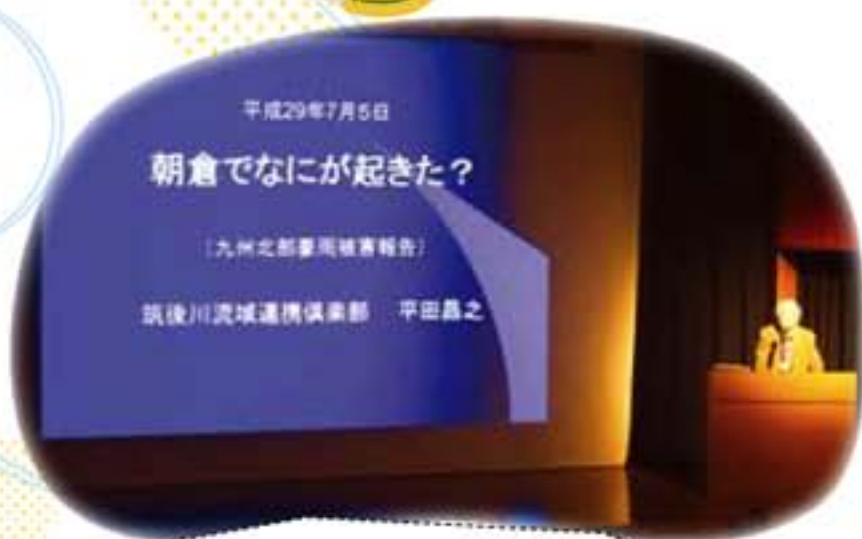
今年の水もり自慢では、大会テーマを「源流の森、里山、海をつなぐ川から…暮らしと防災を考える」としまして、[午前] 平成29年7月九州北部豪雨災害及び、

平成24年7月九州北部豪雨の矢部川豪雨災害の復旧について基調講演・事例報告がありました。平成29年7月九州北部豪雨で実際に被災された現地の方から被災状況、復旧状況、被災地域での課題等の話や、矢部川豪雨災害復旧からみた提言といった話を聞くことができ、被災地の復旧・復興について考える大変有意義な時間となりました。[午後] 市民団体、行政、大学などの団体から、寸劇やパネル発表など41件の活動報告を行っていただき、「水もり」に関わる様々な団体と交流を深めることができました。

次回の第15回「ふくおか水もり自慢!」については、詳細が決まり次第、福岡県河川協会HP等でお知らせいたします。多くの方のご参加をお待ちしています♪



【平成29年7月九州北部豪雨災害報告】



筑後川流域連携倶楽部
平田昌之 様



パネル展示の様子



【活動報告】



「星野川・柳川の生き物調べから」
星野小学校学室保育



活動報告の様子



【平成29年度】

第2回

福岡県災害復旧実務講習会の報告

日時
場所

平成30年2月16日(金) 10:00～16:25

(公財)福岡県建設技術情報センター3階 大研修室



平成29年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県内市町村及び県土整備事務所から約90名の参加をいただきました。

本講習会は、適正かつ迅速な災害復旧事業を推進するため、災害復旧の実務を行う担当者に向けて、年2回開催しています。

第2回である今回の講習会では、平成29年災害査定総括や災害復旧に係る事務手続き及び留意事項等の説明を行いました。さらに応急工事、被災メカニズム及び工法検討等、被災から査定決定に至るまで、事例を用いて講義を行いました。

また、平成29年九州北部豪雨により甚大な被

害を受けた朝倉市から足立参事を講師にむかえ、被災状況や苦慮した点、支援状況等の体験談をいただきました。参加者は被災地の生の声に熱心に聞き入っていました。

「災害査定留意事項」では、国土交通省九州地方整備局の馬場技術検査官から、応急工事や査定に関する留意事項等について事例を用いた説明をしていただきました。申請者とは違った視点での講話をいただき、参加者にも好評でした。

平成30年度も災害復旧事業に係る各種講習会を予定しており、初任者から経験者まで幅広くお役に立てる内容を企画しておりますので、今後多くの方のご参加をお待ちしております。

平成29年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)プログラム

1. 開会挨拶
2. 平成29年災害査定総括
3. 平成29年九州北部豪雨災害について
4. 災害復旧事業費の国庫負担金交付申請手続きと精算・成功認定等について
5. 災害復旧に関する留意事項
6. 災害復旧事業の設計変更と合併・合冊について
7. 質疑応答
8. 福岡県防災エキスパート会の取組
9. 平成29年災害復旧の主な運用改変について
10. 河川災害復旧工事における留意事項
11. 道路災害復旧工事における留意事項
12. 災害を受けての体験談
13. 平成29年河川災害事例
14. 平成29年砂防災害事例
15. 災害査定留意事項
16. 質疑応答
17. 閉会挨拶



朝倉市建設課 足立参事



九州地方整備局 馬場技術検査官

災害申請時の留意点

申請者心得10箇条(災害手帳)

【不明な点があれば】災害手帳及び災害査定のとびき

→それでも不明であれば、県に確認(市町村の場合)

まずは 災害講習会への積極的な参加

ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!!

No. 42

おに くら
鬼 倉
のり お
徳 雄



特定外来生物に指定される代表的水草



【脅威! 特定外来生物に指定される水草たち】

現 在、当研究室では、WWF ジャパンとの共同で、有明海沿岸域のクリーク地帯の生物多様性調査を実施しています。私の専門は淡水魚類。カワバタモロコやニッポンバラタナゴなどの希少な淡水魚類に胸を躍らせながら、調査を実施中です。実は、10年前も約100か所のクリークで調査を実施しており、昔を思い出しながら、「おお、この地点、まだちゃんとカワバタモロコ、生息しているやん」とか、「ああ、なんか、残念な感じの護岸改修がされてるね。やっぱり、魚の種数が減ってるやん」とか、いったように、今回は約140か所の水路網を調査して回っております。その中で、大変な脅威を感じたこと、それは特定外来生物に指定されている水草たちの繁茂状況です。

魚 に比べて水草への関心は決して高くない私ですが、今回、この「かわ」の中で外来の水草を取り上げるきっかけになったのは、実はカワバタモロコなどが生息するお気に入りの水路にナガエツルノゲイトウ、オオフサモ（ともに特定外来生物に指定される水草）が侵入していたからです。そして、その水路には、希少な魚たちだけでなく、絶滅危惧種に指定されるアサザ、ヒシモドキといった希少な水草も生育しています。夏の



調査時、ヒシモドキの美しい淡紅色の花に感動した私。1年生の浮葉植物ということで冬の調査ではその株を確認できませんでした。替わってナガエツルノゲイトウとオオフサモが大繁茂。次の夏、あの美しい花を見ることが出来るのか、とても心配です。ということで、クリークで見られた特定外来生物に指定される水草、代表的なものを以下に紹介いたします。

ま ずは、オオフサモ。通称、パロットフェザー。今回の調査では140か所中の1割程度で確認されました。この水草は、水質浄化等の目的でビオトープなどに導入された実績などあり、我々の身近な川や水路でもしばしば見かけます。福津市を流れる西郷川にも、古賀市を流れる大根川にも…。特定外来生物であることを知らずに、学校や公園、家庭の庭の池などに入れていることもしばしば。外来生物法で飼育・栽培は禁じられ

ておりますので、みなさん、お気を付けください。

続

いて、ブラジルチドメグサ。近縁種数種と共に、ウォーター・マッシュルーム、ペニーウォートという名前で、ペットショップやインターネット上で販売されていたことがあります。1990年代後半に初めて確認されて以来、分布拡大中です。熊本県菊池川流域では、この水草が分布を拡大、猛威を振るい、駆除活動が行われておりますが、一度、分布を拡大した本種を駆逐するのはなかなか難しいようです。福岡県でも筑後川・矢部川流域に侵入、佐賀県でも見つかった箇所があるようで、蔓延する前に駆除をとということで、防除計画や駆除方法の策定が進められています。我々の調査では1割ほどの水路から確認されました。



次に、ボタンウキクサ。別名はウォーターレタス。1920年代に観賞用として入り、熱帯魚店、園芸店、ホームセンターなどを介して広く広まった模様です。1990年代に入り、野生下での定着が認められるようになりました。「ボタンウキクサ、駆除」で、WEB検索をかけると、淀川や鶴田ダムなどが出てきますが、実は、熊本県内で猛威を振っています。水温が低いと衰弱して枯れるとされていますが、夏に爆発的に増えた本種が冬季に枯れると、それはそれで腐ってしまって富栄養化などの問題を引き起こすかもしれません。我々の調査では、5か所程度で確認されましたが、今のところ、熊本県内の特定のエリアからだけでした。



最

後に、ナガエツルノゲイトウ。国内で最初に確認されたのは1989年。同属の複数の種類が観賞用の水草としてペットショップやインターネット上で販売されていたそうで、その中のひとつだったのかもしれませんが。今回の調査では、まだ数か所のみの発見ではありますが、別件のお仕事で、菊池川水系で河川の方の調査を行っておりまして、こちらの方ではびっくりするほど、本種が…。



これらの外来植物、大半は、観賞用などで流通していたということ。つまり、それを野生に放ってしまったのは…。植物に限らず、観賞用で飼育・栽培しているものを自然に放つと、在来の生態系に悪影響を与えてしまうかもしれないことをしっかりと認識しなければなりません。そして、もう一つ。これらの植物が猛威を振るとき、ほとんどの場合、水面がそれらに覆いつくされてしまうこと。そうすると、光がさえぎられてしまい、水中に光が届かず、溶存酸素不足などを引き起こしてしまいます。これらの繁茂は在来の植物にとって大変な脅威！そして、それだけでなく、酸素がなくなれば、魚などの水生動物にも悪い影響を与えてしまいます。各地で行われる駆除活動の成功を心より応援したい。そして、人々が外来生物に関心を抱き、安易な放流や遺棄を行わないことを切に願いたいと思います。

おに くら のり お
鬼倉 徳雄 — NORIO ONIKURA —

- 九州大学大学院農学研究院・准教授
- 日本水環境学会九州支部・評議委員
- 日本魚類学会自然保護委員・学会賞選考委員
- 応用生態工学会評議委員・編集委員

主な著書／

- 生きざまの魚類学 魚の一生を科学する(猿渡敏郎編著)
- 見えない脅威“国内外来魚”
(日本魚類学会自然保護委員会編)

川のある風景:那珂川



■撮影時期:2月 ■撮影地:西大橋と福博であい橋 ■撮影者:Kitagawa, E

那珂川は、博多湾に注ぐ河川です。手前の西大橋は人や車の往来が多く、奥の福博であい橋は公園のような憩いの場となっています。那珂川では水上バスが運行されています。

協会からのお知らせ

平成30年度 災害復旧事業に係る研修及び講習会一覧

日程/会場	研修・講習会名	主催
平成30年4月20日(金) (公財)福岡県建設技術情報センター	(第1回)福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会
平成30年5月14日(月)～15日(火) 砂防会館別館(シェーンバッハ・サポー)	平成30年度災害復旧実務講習会	(公社)全国防災協会
平成30年5月22日(火)～23日(水) (公財)福岡県建設技術情報センター	災害復旧実務研修	(公財)福岡県建設技術情報センター
平成30年5月下旬以降 北九州・筑豊・福岡・筑後北部・筑後南部の 各庁舎で開催予定 【平成29年度実績:5月29日～6月2日】	災害復旧実務ブロック講習会	県土整備部 河川管理課 道路維持課
福岡県の災害査定期間中(6月頃) 災害査定現場ほか	災害査定臨場研修	県土整備部 河川管理課
平成30年12月頃 (公財)福岡県建設技術情報センター 【平成29年度実績:2月16日】	(第2回)福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会

※いずれの研修も県内市町村及び出先事務所の災害復旧事業担当者を対象としています。

編集
後記

今回は、「那珂川」です。上流部では「五ヶ山ダム」が完成しました。「わがまちのかわ」では、河川公園の桜や那珂川沿いの「屋台」が紹介されています。協会のホームページでは那珂川の「動画」を掲載しております。ぜひ、ご覧下さい。(古賀)

◆ STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669
企画 正光印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

